

1. はじめに

平成 21 年からの障害者制度改革は 8 年目を迎え、障害者差別解消法の施行からも 2 年が経過しました。地域での障害者差別の解消を推進するための障害者差別解消支援地域協議会が、都道府県レベルでは 100% 設置されました。そして、東京都では今年の秋に「障害者への理解促進及び差別解消の推進に関する条例」の採択が予定されています。しかしながら、平成 29 年 8 月に実施した内閣府の世論調査では、「障害を理由とする差別や偏見がある」と答えた人が約 51% にのぼっています。また、「5 年前に比べて差別や偏見が改善されたか」という質問には、42% の人が改善されていないと答えています。

このような状況の中、協会は障害者制度改革の推進に注力して、東京都福祉保健局との懇談会や都議会各会派と予算ヒアリングを行い、東京都の要約筆記者派遣事業の拡充、中途失聴・難聴者のコミュニケーション学習の充実、バリアフリーなまちづくりなどを求めてきました。また、昨年 11 月には、12 年ぶりに全難聴の全国中途失聴者・難聴者福祉大会を協会主管で開催し、全国の難聴者の主張の社会への発信と仲間との交流を実現しました。これらの活動を実施できたことは、認定 NPO としての協会に対する社会の一定の評価の表れであるとともに、協会の社会的責任をより大きくさせるものであり、自助・共助に加えて新しい公共の担い手としての協会活動を改めて自覚させられた平成 29 年度でした。

2. 協会の対外活動

平成 29 年度の協会の対外活動は、昨年度同様東京都の要約筆記者派遣事業の拡充、コミュニケーション学習の充実を求める行動を中心に進められました。

東京都の意思疎通支援者派遣事業は「東京都聴覚障害者意思疎通支援事業（広域型行事への意思疎通支援者派遣）運営要綱」に従って実施され、全難聴福祉大会の開催にあたっては大きな役割を果たしました。しかしながら、派遣目的の公益性・広域性の要件は依然として維持されており、障害者団体の利用が限定され、協会の理事会や専門部の役員会などが対象外となるなど協会活動を大きく制限する実態は変わっていません。年度ごとに事業予算には若干の増加が図られていますが、都道府県レベルの広域的な意思疎通支援事業としての位置づけは不明確であり、より一層の事業の拡充を求めて行く必要があると考えます。

一方、コミュニケーション学習においては中途失聴・難聴者手話講習会の継続や東京都手話通訳等養成講習会指導者クラスの中途失聴・難聴者コースの継続などの成果がありました。今後、指導者クラスの修了者には、地域での難聴者の手話学習普及の先頭に立っていただく必要があります。2020 年以降も手話指導者クラス中途失聴・難聴者コース継続の必要性を訴えるために、コース修了者の活動実態を調査することを来年度の課題としたいと考えます。

また、数年来懸案となっている「耳マーク」普及活動については、東京都への普及要望行動や缶バッジの制作・販売、各種刊行物への「耳マーク」表示を進めると同時に、7 月には全難聴耳マーク部長を協会の例会に招き耳マークについての学習を行いました。東京では「ヘルプマーク」普及を東京都が進めており、「耳マーク」普及については、それらのマークとの違いを丁寧に説明する必要があります。今年度の活動の反省をもとに、来年度以降さらに積極的に「耳マーク」の普及を図っていきたいと考えます。

その他、2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けての福祉のまちづくりへの取り組みが急がれていますが、「Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン」の利用は極めて不十分な 1 年に終わりました。ガイドラインは「大会を契機としたハード・ソフト両面での国際的な水準に基づくアクセシブルな環境整備の促進」を謳っています。協会として、ガイドラインを積極的に利用した福祉のまちづくりへの取り組みを更に強化したいと考えます。

3. 協会の対内活動と組織強化

3.1 対内活動

11 月 4-5 日、国立オリンピック記念青少年総合センターで第 23 回全国中途失聴者・難聴者福祉大会が協会主管で開催されました。12 年ぶりの東京での開催でしたが、式典・全体会・記念講演に加えて 5 つの

分科会が開催され、また特別企画として特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワークと共同して劇団四季の「ライオンキング」のバリアフリー観劇を実施しました。全国各地から 741 名の方の参加があり、中途失聴・難聴者の主張を社会へ発信し、全国の仲間との交流が実現でき、成功裡に福祉大会を終了することができました。関係者、会員各位のご支援に感謝したいと思います。

通年事業としては、前年度同様「地域コミュニケーション講座」や新宿区社会福祉協議会との共催事業「聞こえに関する連続講座」を開催し、地域での中途失聴・難聴者の自立のための学習活動を実施しました。また、例年通り「高齢難聴者生きがい講座」、「手話講習会応用クラス」、「実践読話講習会」などを開催し、高齢難聴者の憩いの場として「手を動かそう」を毎月1回開催しました。例年協会が実施するこれらの講座、講習会は中途失聴・難聴者が互いの交流を通じて学習を重ねる「場」として着実に実績を積み上げていくと評価することができます。

協会は5年前に組織改正を行い、協会の横断的課題への取り組みのために事業委員会、広報委員会、防災委員会の3つの専門委員会を設置しました。一方、専門部については現在文化部とコミュニケーション対策部が活動を停止しており、コミュニケーション関係の専門部のあり方については検討課題となっていますが、平成 29 年度では十分な議論ができませんでした。協会組織の重要な課題として来年度も議論を継続して結論を出したいと考えています。また、サークルは協会員の交流の場として今年度も非常に大きな役割を果たしました。非協会員や支援いただく人への働き掛けなどの課題を抱えていますが、今後ともサークル活動を中途失聴・難聴者の自助・共助の「場」として更に強化していきたいと考えます。

3.2 協会財政

平成 29 年度決算報告にある通り平成 29 年度は約 674 千円の黒字となりましたが、福祉大会の収支を除いた一般会計は約 566 千円の赤字となっています。その詳細は決算報告のなかで説明させていただきますが、①会員減による会費収入の減少②講師派遣等の収入の減少、③借料金の増加などが要因となっております。平成 29 年 4 月からの会費値上げにもかかわらず、このような赤字が発生したことは協会の構造的な問題に起因していると考えられます。来年度は財務問題の検討を理事会で継続的に行い、問題への対応を図って参りたいと考えます。

4. まとめ

協会は平成 25 年8月に認定 NPO の資格を得て、本年3月9日に第1回の認定更新の申請を行いました。認定 NPO では活動の公益性と情報の公開が非常に厳しく評価されますが、特に公益性の面では助成金や寄付金の多寡が厳しくチェックされます。今回の認定更新申請にあたって、認定 NPO となってから5年間の事業活動収入に占める寄附金(会費を含む)割合の実績報告が求められましたが、結果は 46% となり、認定 NPO の基準である 20% 以上を確保しました。

全難聴福祉大会や一般事業の助成獲得にあたっては、認定 NPO である協会に対する社会的信用が大きく貢献しました。しかし財団助成を継続的に受けるためには、実施した事業の内外の評価が大きなポイントとなります。協会は定款第3条にあるように、地域社会に貢献することを目的としています。会員の自助・共助の場としての活動と同時に、協会の活動の透明性を高め、対外的な情報発信を強めることが求められます。平成 29 年度の活動結果の詳細は以下の通りですが、私たちの毎日の協会活動を誰もが楽しみ、拡がりのあるものとするのが、社会への働きかけを一層強めることとなります。会員各位のより一層の協会活動への理解と参加をお願いして、事業報告のまとめとさせていただきます。

事業報告(一覧)

1. 特定非営利活動に関わる事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	延べ人数
中途失聴者、難聴者の社会参加のための調査・研究、施策のための提案事業	人工内耳に関する講座	平成 30 年 2 月 3 日	中野サンプラザ	87
	福祉対策・コミュニケーション関連部活動	年間	東京都障害者福社会館 他	792
中途失聴者、難聴者のコミュニケーションの充実のための社会教育事業	聴覚障害者コミュニケーション教室	月 1 回、年間 9 回	東京都障害者福社会館	279
	実践読話講習会	月 2 回、年間 17 回	東京都障害者福社会館	238
	地域コミュニケーション啓発講座	年間 5 回	八王子市・葛飾区・多摩市・渋谷区・北区	128
	地域福祉相談支援ゼミ	年間 20 回	東京都障害者福社会館	538
	手話講習会応用クラス	月 2 回、年間 20 回	多摩障害者スポーツセンター他	655
	新宿区社協共催事業	年間 2 回	新宿区社会福祉協議会	34
	「聞こえに困ったら②」作成	年間 11 回	当会事務所他	31
	高齢者対象「手を動かそう」	年間 12 回	東京都障害者福社会館	198
講師等派遣	東京手話通訳等派遣センター・国立障害者リハビリテーションセンター学院他		16	
中途失聴者、難聴者の諸問題の解決のための情報収集、提供事業及び他団体との連絡調整	「協会ニュース」発行	月 1 回	当会事務所	119
	テキスト・ビデオ作成	年間	当会事務所 他	10
	ホームページ運営	随時更新	当会事務所	36
	刊行物・耳マーク仕入れ	年間	当会事務所	36
	全難聴福祉大会	平成 29 年 11 月 4・5 日	国立オリンピック記念青少年総合センター	740
中途失聴者、難聴者にかかわる相談、支援事業	高齢難聴者生きがい講座	年 12 回	東京都障害者福社会館	253
	中途失聴者・難聴者相談事業	随時	当会事務所	50
	中途失聴者・難聴者地域支援事業	随時	当会事務所	100
中途失聴者、難聴者の文化・芸術、スポーツの振興を図る事業	文化部各サークル 等	月 1～2 回	東京都障害者福社会館 他	1200
その他	高齢難聴者生きがい講座・実践読話講習会・地域コミュニケーション啓発・地域福祉相談支援ゼミ等事業計画・進行管理・会計処理・事務処理等コーディネーター業務	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日	当会事務所	238

2. 収益事業

自動販売機による委託販売(7か所8台)

東京都庁第一本庁舎鍛冶屋橋クラブ・東京都江戸博物館・東京都第五建設事務所・東京都七生福祉園、東京しごと財団(2台)・東京都第六建設事務所・東京都多摩職業能力開発センター八王子校

事業報告

事務局

1.体制

事務局長：宇田川芳江 職員：石田豊子、井田いく子、木村朋子、松枝朋美、百瀬静江

2.活動報告

- ・理事会(4/22・5/13・5/27・6/24・7/22・8/26・9/23・10/21・11/25・12/23・1/27・2/24・3/24)
- ・東京都福祉保健局との懇談会 6/29 (36人)
- ・人工内耳に関する講座 平成 30/2/3
- ・新宿区社会福祉協議会共催事業「聞こえにくい方とご家族・支援者のための講座～聞こえに困ったら～」平成 30/1/13 ・ 2/17 (34人)
- ・「手話・字幕付胃検診」受付 9/30(19人) 12/2(17人)
- ・高齢者対象「手を動かそう」月1回第1金曜日 12回実施
- ・協会ニュース発送 毎月1回 第2土曜日 12回 会員有志の協力(延93人)
- ・「第47回耳の日記念文化祭」参加 3/3 ・ 3/4
- ・「自立支援センターまつり」参加 7/17
- ・例会 毎月第4日曜日 12回

実施日	テーマ	参加者数
4月23日	平成29年度東京都意思疎通支援事業説明会	17
5月28日	通常総会・役員選挙	432 (出席69)
6月25日	講演会「歯と口の健康」	13
7月23日	講演会「耳マークとヒアリングループマークについて学ぼう」	22
8月27日	講演会「先輩の話を聞こう！」	83
9月24日	協会と私&マルシェ	33
10月22日	新入会員説明会&交流会	39
11月	第23回全難聴福祉大会の為 例会は開催せず	-
12月24日	クリスマス会	72
1月28日	講演会「マインドフルネスって何だろう？」	30
2月25日	講演会「観光アクセシビリティ」	29
3月25日	講演会「難聴者のコミュニケーションあるある」	22

事業委員会

1.体制 委員長：新谷友良 委員：宇田川芳江・大江千枝・小笠原晶子・小橋由里子

2.活動報告

委員会開催 4/21・5/17・6/7・7/12・9/13・10/11・11/15・12/20・1/10・2/14・3/14

3.事業報告

I 助成事業

(1)東京都福祉保健財団助成事業

- ①実践読話講習会
- ②高齢難聴者生きがい講座(運営担当：実年部)
- ③地域福祉相談ゼミ(手話応用@三田)
- ④地域コミュニケーション啓発講座(運営担当：組織部)

(2)新宿区 NPO 活動資金助成事業

- ①「聞こえに困ったら2 パンフレット」作成

II 協会委託事業の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。

- (1)聴覚障害者コミュニケーション教室(東京都委託事業)
- Ⅲ 協会事業の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。
- (1)手話講習会応用クラス(多摩)
- (2)手を動かそう講座
- (3)新宿区社会福祉協議会共催事業
 会場:新宿区社会福祉協議会 地下会議室 14時~16時
 1月13日(土)「耳のしくみと難聴」 齊藤秀行氏
 2月17日(土)「中途失聴・難聴者とコミュニケーション」坂山己世氏
- Ⅳ 各種講習会・講座への講師・スタッフ派遣の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。
- (1)東京都中途失聴・難聴者手話講習会(三田・多摩)
- (2)東京都読話講習会
- (3)手話指導者養成クラス(中途失聴・難聴者向け手話指導)(5/19・6/16・6/30・7/14・7/28・8/18・8/25・9/8・9/22・10/13・10/20・10/27)
- (4)講師派遣事業
- ①東京手話通訳等派遣センター(8/2・8/9)
 - ②国立障害者リハビリテーションセンター学院(10/11・10/18・10/25・11/8・11/15)
 - ③杉並区中途失聴・難聴者の会読話講座(6/13・6/20)
 - ④茨城県中途失聴・難聴者コミュニケーション講習会 読話講座(8/26)
 - ⑤東村山市「聞こえにくい人とのコミュニケーション講座」(2/13)
 - ⑥つばさの会府中(2/16)
 - ⑦特定非営利活動法人信州難聴者協会「中途失聴者・難聴者手話講師養成のための勉強会」(3/4)
 - ⑧中野区中途失聴・難聴者の会「みんなの聞こえの学習会」(3/10)

広報委員会

NPO法人にふさわしい広報活動に向け、協会の広報媒体を見直し、刷新に努めた。

1. 体制

委員長:新谷友良 委員:宇田川芳江・小島敦子・皆川みさ子・山内菜央子
 オブザーバー(平成30年1月より):村田美和

2. 活動報告

- (1)委員会を開催した。4/5・5/10・6/15・7/6・8/17・9/21・10/19・12/27・1/17・2/20・3/13
- (2)「協会ニュース」について、会報編集部と内容・編集作業の見直しを進めた。
 魅力ある紙面作りに力を注ぐよう努めた。
- (3)協会ホームページについて、適切な情報発信と更新ができるよう努めた。
- (4)新しい広報媒体の可能性について、討議を進めている。

防災委員会

1. 体制

委員長:木村昭夫 委員:小川光彦・松之木礼毅・平野英夫(7月まで)

2. 活動報告

- (1)委員会開催 毎月1回平日夜間開催
- (2)東京都聴覚障害者連盟災害対策委員会 12/17
- (3)マニュアル作成(継続)
- (4)野外研修 1)事務所近辺(新宿)防災避難所関係調査 8/6
 2)福祉会館近辺(田町)防災避難所関係調査 9/3
- (5)NTTDoCoMoとのヒアリング 1)エリアメールアプリの聴覚障がい者むけの機能のヒアリング 2/21
 2)アンケート実施 62件回収
- (6)協会ニュース寄稿 防災意識を高めるための掲載3回

(7)委員の各自自主啓発 1)地元防災訓練参加

2)情報文化センター「手と目の一日～聞こえない人たちの災害時の支援をみんなで考えよう～」
パネリストとして出席 10/21

3)全難聴福祉大会 第3分科会「活用しよう!!防災マニュアル」 パネリストとして出席 11/4

4)新宿区防災とボランティア週間講演会「家庭でできる防災対策～自分・大人を守るために～」出席 1/20

5)日本身体障害者団体連合会フォーラム「災害、その時私たちは…」出席 2/3

6)東京都聴覚障害者連盟災害対策会議出席 7/29,2/24

福祉対策部

1. 体制

部長:小川光彦 副部長・会計:宮本忠司 構成人数:4人

2. 活動報告

(1)協会内部

①部会実施 4/20、5/10、6/15、7/12、8/9、9/13、10/11、11/22、1/26、2/5、2/25、3/14の12回

②施設・交通アクセシビリティ活動 アクセシビリティ関連事例の収集

③2/26例会「観光アクセシビリティ」をテーマに、観光企業2社による講演・学習を担当。同時に観光企業4社及び、当事者にアンケート実施。参加者30名。

④学習会4回開催。

企業内の音声認識活用(46名)、補聴器・ヒアリンググループ(39名)、恋愛アクセシビリティ(15名)、はね返すカ・レジリエンス(12名)について、それぞれ実施した。

平成28年度(4回約51人)比で約2.2倍の参加者があった。特に青壮年層の非会員の参加が半数近くあり、新たな参加者を掘り起こすことができた。

⑤Live トーク(富士通)の学習会を行った。

⑥その他協会諸行事の実施協力

(2)協会外部

・6/29 対東京都予算交渉懇談会 要望案

・補聴機器関係の講演活動を依頼され、複数回実施した。

3.反省点・課題など

(1)アクセシビリティをメインテーマとして活動しているが、まだまだ知られていない。「福祉」を看板に掲げる部として、従来の福祉対策に対する期待も強く感じるが、十分に伝えられていない。

(2)音声認識アプリの導入を検討していたが、必要性の検討が不十分であるため見送った。当事者のコミュニケーションツール活用に期待が高い。部で継続して学習企画を実施できるようにしたい。

(3)啓発目的の講演会を年8回開催予定だったが、4回に減らし無理なく充実した内容で実施することになった。

(4)協会財政状況を考慮し、行事開催にあたって部の独自収入をはかり、部の運営維持、効果的な事業実施に努めている。継続する。

(5)引き続き活動できる新部員勧誘に努める。

要約筆記普及部

1. 体制

部長:森岡見帆 会計:生田真弓 部員:皆川みさ子・野本美香

2. 活動報告

① 部会開催(6/13, 12/12, 1/16)

② 3月例会担当(3/25)「難聴者のコミュニケーション あるある」

③ 出前講座(2/16) 実年部茶話会

④ 部内勉強会(2/7) 参加者 13名 ファシリテーター:宇田川事務局長、三宅初穂氏

⑤ 全難聴要約筆記研修会 in 広島(H30.1/6-7)部員1名参加

手話対策部

1. 体制

部長:坂山己世 副部長:石川千鶴 中村麻子 会計:国吉玲子
 部員:明田美奈子 今井節子 掛水泉 河合優子 神尾優子 齊藤祐子 志村瞳 関ひかり
 長澤 道代 長沼知子 中村みずほ 丸山利江 和田すが 山崎由紀子 18名

2. 活動報告 場所:東京都障害者福祉会館

月日	内容	参加者	月日	内容	参加者
4/10	年間計画の確認&例会・ミニ手話講座について	15名	10/2	ミニ手話講座の各担当からの報告と反省等、話し合い	12名
4/26	自主学習会について相談	10名	10/25	自主学習会	8名
5/8	各行事の準備・部内学習会の相談	15名	11/13	部内研修1回目石原茂樹氏	10名
5/24	自主学習会	17名	11/22	自主学習会	11名
6/12	行事の準備 第1回部内学習	14名	12/11	協会クリスマス会の手話ソング練習	10名
6/28	自主学習会	14名	12/24	協会クリスマス会に参加	6名
6/29	都との懇談会	5名	1/15	30年度の活動計画について他	8名
7/10	行事の準備 第2回部内学習	15名	1/24	自主学習会 休会	
7/26	自主学習会	10名	2/5	部内研修2回目 石原茂樹氏	11名
8/14	ミニ手話講座準備	12名	2/11	特別講演会 米内山明宏氏	69名
8/27	協会例会への協力 明田氏講演会	12名 +83名	2/28	自主学習会	7名
9/4	ミニ手話講座準備	12名	3/12	部会	9名
9/10	ミニ手話講座開催	70名	3/28	自主学習会	10名
9/27	自主学習会	11名	3/29	続コミュニケーションテキストの相談	4名

会報編集部

1. 体制

部長:小島敦子 会計:成瀬幸男
 部員 入江友紀子 岩崎幣介 木本練子 柴田由美 堀川すみれ

2. 活動報告

- (1)会報「協会ニュース」の編集(毎月第2土曜日発行)
- (2)編集会議 4/12 5/10 6/14 7/12 8/9 9/13 10/11 11/8 12/13 1/10 2/14 3/14 全12回
- (3)初校校正 4/26 5/31 6/28 8/1 8/30 10/2 10/31 11/29 12/25 1/31 2/28 3/29 全12回

組織部

1. 体制

部長:有馬富江 副部長:金子晶子・井桁洋子 会計:青木房子
 部員 岩崎幣介 江口祐子 小林圭子 丸山由美子 渡辺恭子

2. 活動報告

- ①地域ネットワーク活動
 ネットワーク・ニュース:年4回発行
 ネットワークメンバー:平成30年3月末現在 メンバー数66人
- ②地域コミュニケーション講座の開催
 地域ネットワークの活動に平行して、地域での聞こえに困っている方を対象に その社会参加を促す地域コミュニケーション講座を以下5箇所で開催した。

	八王子市	葛飾区	多摩地域	渋谷区	北区
--	------	-----	------	-----	----

開催日	平成 29・7・2	9・16	11・18	平成 30・1・28	3・18
開催場所	生涯学習センター 南大沢分館	ウェルピアかつしか	多摩障害者スポーツセンター	渋谷区リフレックス氷川	北区東十条区民センター
共催地域団体	八王子中途失聴・難聴者友の会	葛飾区中途失聴・難聴者の会	—	渋谷区中途失聴・難聴者友の会	—
テーマ	コミュニケーションツールについて	発信力と受援力	生活向上のため、使える制度を知ろう	聞こえにくさに向き合う	聞こえにくさに向き合う
講演・講師	小川光彦氏	宇田川芳江氏	新谷友良氏	皆川みさ子氏	宇田川芳江氏

③協会例会として、10月22日、新入会員説明会・交流会を担当した。台風のため参加者が少なかったが会員一人一人の声を聞くことができた。

④上記事業計画を実行するため、月1回の組織部会を開催した。

実年部

1. 体制

部長：関根一喜 会計：吉田桂子 部員：長内節子・菊地久江

2. 活動報告

月日	内容	場所	参加者数
4/21	手話講座「手話今昔」 講師：宮本正明氏	東京都障害者福祉会館	33
6/16	柴又界限散歩・鰻重ランチ	柴又界限	25
7/21	手話講座「手話をもう一度③」 講師：中村みずほ氏	東京都障害者福祉会館	29
9/24	中難協・月例会協力・マルシェ	東京都障害者福祉会館	
10/20	講演会「生い立ち活動から学んで」 講師：堀場照美氏	東京都障害者福祉会館	36
1/9	初詣・新年会	神田明神・あけびの実	26
2/16	茶話会	東京都障害者福祉会館	26
3/16	「防災・減災 はじめの一步」 協力：全要研東京支部・日本赤十字社	東京都障害者福祉会館	32

女性部

1. 体制

部長：明田美奈子 副部長：渡辺江美 会計：樋口真弓 記録：高田香苗

2. 活動報告

月日	内容	場所	参加者数
4月6日	部会議	東京都障害者福祉会館	4
5月4日	部会議	東京都障害者福祉会館	4
5月6日	料理教室	東京都障害者福祉会館	20
6月1日	部会議	東京都障害者福祉会館	4
6月3日	マジック	東京都障害者福祉会館	12
7月6日	部会議	東京都障害者福祉会館	4
8月3日	部会議	東京都障害者福祉会館	4
8月5日	折り紙・納涼会	東京都障害者福祉会館	21
9月7日	部会議	東京都障害者福祉会館	4
10月5日	部会議	東京都障害者福祉会館	4

10月7日	筆談ボードづくり	東京都障害者福祉会館	31
11月2日	部会議	東京都障害者福祉会館	4
12月7日	部会議	東京都障害者福祉会館	4
12月9日	お楽しみ会(米内山氏)	東京都障害者福祉会館	43
1月11日	部会議	東京都障害者福祉会館	3
1月13日	初詣	増上寺	11
2月1日	部会議	東京都障害者福祉会館	3
2月3日	料理教室(お菓子作り)	東京都障害者福祉会館	6
3月1日	部会議	東京都障害者福祉会館	4
3月24日	6月例会打合せ(字幕で落語)	東京都障害者福祉会館	4

青年部

1. 体制

部長:石川寛和 副部長:高野悠人(兼会計)、酒井宏長 企画:藤嶋慶太、藤中辰郎

2. 活動報告

月日	内容	場所	参加者数
4月9日	ランチ会	新宿御苑	11
5月14日	Game Market へ行こう!	東京ビッグサイト	11
7月2日	ヨガ企画	新宿御苑	9
7月17日	みんな de ディスカッション	センターまつり	40
9月30日	手話勉強会&交流会	港区勤労福祉会館	28
11月4-5日	第23回 全国中途失聴者・難聴者福祉大会、全難聴青年部の交流会	東京	
12月9日	Xmas会	品川	15
1月28日	1月例会「マインドフルネスって何だろう?」	東京都障害者福祉会館	34
2月3-4日	全難青年部企画「なごやか探検! 一泊交流会」	名古屋	12

文化部

【手話サークル 三田昼】

1. 体制 会員数:58名

代表:田端 茂 副代表:中村麻子 会計:及川由喜江・長尾征子 総務:宇賀神聡子・地引千恵子

2. 活動日 毎月第2金曜日・土曜日(13時30分~15時30分) どちらか選び参加

毎月第4土曜日(10時~12時)

3. 活動場所 東京都障害者福祉会館

4. 講師 第2金曜日・土曜日:五十嵐郁子氏 第4土曜日:中村みずほ氏

5. 活動報告 例会のほか、8月ランチ付き交流会、12月クリスマス会を実施

【手話サークル 三田夜】

1. 体制 会員数43名

代表:有我きよみ 副代表:加藤毅 総務:沖田健吉 会計:鶴岡浩

補佐:有我久雄 会計監査:関根一喜

2. 活動日 毎月第1・第3土曜日、午後6時~8時

3. 活動場所 東京都障害者福祉会館

4. 講師 ふくろうクラス:宮本正明氏 みみずくクラス:伊勢正子氏

5. 活動報告

【手話学習会】年間20回(後期に両クラス合同での学習実施)

【親睦会】春の日帰り旅行、納涼会、秋の1泊旅行、忘年会、初詣(七福神めぐり)、新年会

【多摩手話サークル】

1. 体制 会員数 23 名 代表:志村瞳 副代表:青木房子 会計:島田律子
2. 活動日 毎月第 2、第 4 木曜日 午後 1 時 30 分～3 時 30 分
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター
4. 講師 掛水泉氏
5. 活動報告
4/13(総会)・4/27・5/11・5/25・6/8・6/22・7/13(講演会)・7/27・8/10(夏休み)・8/24(納涼会)
9/14・9/28・10/19・10/26(野外活動)・11/9・11/16・12/14・12/21(クリスマス会)・1/11・1/25・2/8・
2/22(反省会)・3/8・3/22(味の素スタジアム見学)

【多摩火曜手話サークル】

1. 体制 会員数 29 名
代表:小島敦子 会計:草間友子 運営委員:平高真澄・小机淑子・渡辺恭子・佐藤美奈
2. 活動日 毎月 第1・第3火曜日 午後 1 時 30 分～3 時 30 分
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター
4. 講師 真藤千枝氏
5. 活動報告

月	日	内容	別会場	参加者数
4	4	第12回定期総会		27
	18	2017年度のお友達紹介シリーズ ①		25
5	2	祝日のため休講		
	16	2017年度のお友達紹介シリーズ ②		25
6	6	手話は「手の言葉です」①		24
	20	DVD で読み取り練習	立川柴崎学習館	16
7	4	手話は「手の言葉です」②		23
	18	マス埋めるクイズ 四字熟語作成	立川柴崎学習館	16
8	1	夏休み		
	15	夏休み		
9	5	手話は「手の言葉です」③		22
	19	クロスワード 長文表現と読み取り	立川アイム	18
10	3	手話は「手の言葉です」④	立川柴崎学習館	18
	17	()の中に合った言葉を入れましょう		17
11	7	名前の由来を聞かせて ①		20
	21	二字熟語を作る		21
12	5	名前の由来を聞かせて ②		23
	19	クリスマス交流会		23
1	2	正月休み		
	16	クロスワードクイズ	立川柴崎学習館	20
2	6	()の中に合った言葉を入れましょう	立川アイム	20
	20	擬音語、擬態語の手話表現 ①		20
3	6	擬音語、擬態語の手話表現 ②	立川アイム	23
	20	役員会(次年度総会準備)のため休講		

【三田書道サークル】

1. 体制 部員:7名 代表:片山善衛 運営委員:金森澗子 会計:小沢宏之
講師:木下修子(書道師範)
例会:毎月第 1・3 木曜日 午後 1 時 30 分～4 時

会場:東京都障害者福祉会館

2. 活動報告

中国、日本の古典名筆の臨書を中心に学習。会員の希望で千字文、般若心経の写書もした。生きがい講座で体験学習、耳の日記念文化祭で作品の展示を実施。

【生け花教室】

1. 体制 部員:7名 代表:飯野堯子 副代表:中村久実子

活動日 毎月第1・3水曜日(月により第2・4水曜日に変更あり) 午後6時~9時(この間は稽古自由)

場所 東京都障害者福祉会館

2. 活動報告

今年も「耳の日文化祭」に出展できた。日頃の成果をご来場いただいた方々に観ていただき、春の息吹を感じていただけたと同時に、出展者にとり今後のお稽古の励みになった。

今年も代表が出展した松屋は、古流の基本を学び、各流派が一堂に会した新宿高島屋の花展では素晴らしい作品に刺激を受け大変勉強になった。

【手話コーラスすみれ会】

1. 体制 会員:11名 代表:堀江晴子 副代表・会計:山城志津子 運営委員:渡辺敏子・佐瀬綾子

2. 活動日 毎月第1・第3水曜日 午後1時30分~4時

3. 活動場所 東京都障害者福祉会館

4. 活動報告

例会では季節感を取り入れ、会員の希望により、リクエスト数曲を楽しんでいる。例会後のミーティングタイムは今後の計画を話し合う大切なひと時。年2回の食事会、今年度はすみれ会創立20周年記念祝賀会を楽しんだ。恒例になった一泊旅行も希望者のみ実施した。

【三田絵手紙サークル】

1. 体制 部員:15名 代表:片山善衛 運営委員:堀川すみれ 会計:田湯計子

2. 活動日 毎月第2木曜日 午後1時30分~4時

3. 活動場所 東京都障害者福祉会館

4. 講師:石井幸子(日本絵手紙協会講師)

5. 活動報告

四季それぞれの花・果物などを題材にハガキに自由な絵描きを楽しんでいる。特に拓版画などの手法を勉強。そして生きがい講座の体験学習、耳の日記念文化祭の展示、体験学習で好評を得ている。

【読話サークル】

1. 体制 代表:沖田健吉 会計:井上春江 副会計:石井やい子 窓口:入月幸子 委員:大江千枝

2. 活動日 毎月第2・4水曜日 午後6時30分~8時30分

3. 活動場所 東京都障害者福祉会館

4. 活動報告

活動日	内容	参加者数
4月12日	学習	13
4月26日	学習	9
5月10日	学習	10
5月24日	学習	12
6月14日	学習	10
6月28日	学習	11
7月12日	交流会	14
7月26日	学習	9
8月9日	学習	9
9月13日	学習	13

9月27日	学習	11
10月11日	学習	11
10月25日	学習	11
11月8日	学習	10
11月22日	学習	12
12月13日	交流会	14
平成30年		
1月10日	学習	12
1月24日	学習	10
2月14日	学習	15
2月28日	学習	12
3月14日	学習	14
3月28日	学習	14

【昼の読話サークル】

1. 体制 会計:井戸ゆり江 副会計:佐々木利子 委員:貝良塚ムネ・柴崎悦子 窓口:井上春江
2. 活動日 毎月第1・4水曜日 午後2時～4時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 活動報告

活動日	内容	参加者数
4月5日	学習	16
4月26日	学習	16
5月10日	学習	16
5月24日	学習	14
6月7日	学習	14
6月28日	学習	17
7月5日	学習	15
7月26日	学習	15
8月2日	学習&交流会	19
8月23日	学習	16
9月6日	学習	15
9月27日	学習	17
10月4日	学習	14
10月25日	学習	16
11月1日	学習	18
11月22日	学習	16
12月6日	交流会	18
平成30年		
1月10日	学習	20
1月24日	学習	14
2月7日	学習	16
2月28日	学習	18
3月7日	学習	14
3月28日	学習	17